

《保利建設社から大切なお客様と、未来のお客様へお届けする情報誌》

ほりけん通信

2018
Vol. 46

発行人：(株)保利建設社
糸島市東1437-2
TEL:092-322-4779
FAX:092-322-4799
編集長：保利千晴

社長コラム

～ スタートの春～

今年の冬は何度となくやってくる大寒波の影響で普段雪が降らないような地域でも大雪が降って交通や生活にも影響が出てたり、キャベツや白菜などの野菜の値段も高騰しました。

高い野菜をわざわざ使って鍋料理をするような気がしなくて、今年の冬は鍋の回数が少なく一段と寒さを感じる冬だったような気がします。



2月 白糸の滝にて



雪の中で食べるカップラーメンは格別でした。



3月になると暖かい日が少しずつ増えてきて桜も開花し

今年はいつもとより長く桜の花が観られました。

私は子供たちと西公園に朝の散歩がてら桜を見てきました。

その日の西公園は朝から多くの中国人観光客でにぎわっていました。



西公園で花見

さて、早いものでこの春、うちの長女が6年間通った今津小学校を卒業しました。8年前の3歳のころ糸島のマンションから今津のいまの我が家へ引っ越してきたとき「前の家がいい！ここは嫌だ！！」と言って泣いていました。せっかく家を建てたのになあ～。と思ったことを思い出します。

私が子供のころは学校を卒業したからといって旅行になんか連れて行ってもらってませんでした。今回は前々から子供たちと約束をしていたので、『小学校卒業記念』ということで春休みにディズニーランドとディズニーシーへ行ってきました。2回目のディズニーでしたが、今回は週末ということもあって凄い人の多さでした。子供たちは3日間楽しんだようですが、私はみんなのためにファストパスを取ることに専念し走り回り、また日ごろの私の運動不足のせいもあってどっと疲れしました。

今年度からは小学校のPTAの活動も始まるの少しずつ運動始めないと。と新しい春の課題が出来ました。

代表取締役 保利重勝



東京ディズニー・シー



簡単だけど「いつもと違う」おいしい卵かけごはん

テレビで見た



ほりけんの男子クッキング

ずるずるの白身が好きではない私にも
ぴったりの卵かけごはんです。

- (材料)
- ・お茶碗一杯分のご飯
 - ・卵一個
 - ・塩、こしょう・・・少々
 - ・しょうゆ・・・数滴



(作り方)



① 小皿に「黄身」、小ぶりのボウルに「白身」を分けて入れ、白身の入ったボウルに、塩としょうゆを数滴入れ泡だて器で軽く泡立てます。



② あらかじめ沸騰させておいた小鍋にボウルをおいて湯煎にかけ、泡が少し固めになるまで混ぜます。

③

②で泡立てた白身を、あたたかいご飯に乗せて真ん中に分けておいた黄身をおけば、出来上がりです。お好みでこしょうを振ってお召し上がりください。



白身のズレとした感じが
苦手な方にもいいですよ



編集後記

編集長：保利千晴

皆さま、こんにちは。あっという間に卒業・入学シーズンになりましたね。我が家の長女も先日小学校の卒業式を迎えました。卒業式の写真と比較しようと、6年前の入学式の写真をさがしていましたが、なかなか見つからず…入学する少し前の写真を見つけました。6年経つと、こんなに大きくなるんですね。

当日は、7人の6年生の女の子の内6人は袴姿、1人は韓国の民族衣装子マチョゴリという可愛い衣装での卒業式でした。一学年18人でクラス替えもなく6年間を過ごしてきたので、中学生になったらその何十倍の同級生たちと過ごす新しい環境は、長女にとってまた素晴らしい学生生活になって欲しいと思います。

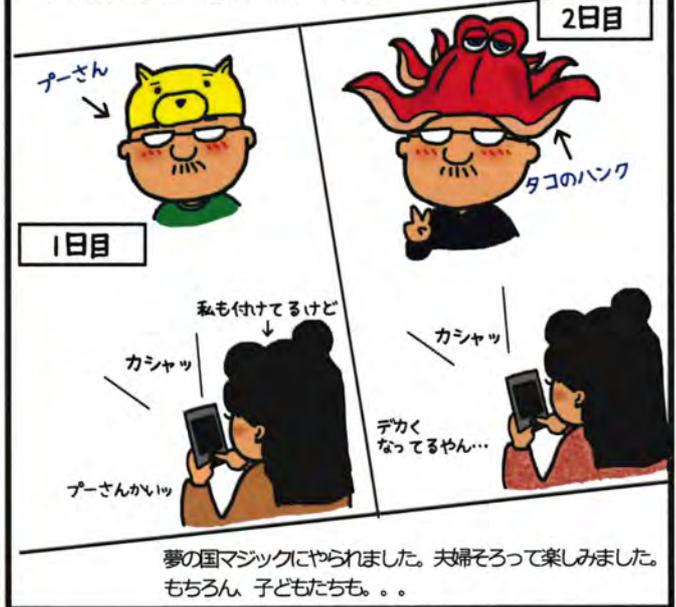


6年後



漫画で「夢の国マジック」 絵：編集長

先日、長女の小学校卒業の記念に、前から行きたいとせがまれていた「東京ディズニーランド・ディズニーシー」へ家族で行ってきました。が、しかし…夫婦そろってちょっと苦手な場所だったので、気が重かったのですが…



夢の国マジックにやられました。夫婦そろって楽しみました。もちろん、子どもたちも。。

株式会社 保利建設社

〒819-1122 福岡県糸島市東1437-2

TEL (092) 322-4779 Email: info@horikenhome.jp

FAX (092) 322-4799 URL: http://horikenhome.jp/

幻の漆喰

音響熱伝木林

漆活屋



QRコード

糸島の空気がうまい家

検索



家づくり

ほりけんの

先月号からご紹介しているH様邸新築工事の基礎工事の様子です。

中古住宅を購入し、改装をしながら住まれていたH様邸です。
築38年が経過して家が傾いてサッシが開かないなど、あちらこちらに不具合や使いづらさを感じられるようになってきていました。
今回、3世代6人で住まわれることになり建て替えをされることになりました。



解体工事



機械で解体している様子ですが、ここに至るまでに屋根や、内装ボード類は手作業で取り外し、分別しながら作業を進めています。

解体前のH様邸です。
長年住まれた思い出いっぱいの家です。
勿体ないような感じもしますが今回は取り壊して新しい家造りをスタートさせました。

工事現場で出たこのような産業廃棄物は焼却や埋め立てだけをするのではなく出来る限り分別してリサイクルすることでゴミの減量に努めています。



型枠工事



コンクリートを流し込む作業が終わり一定の期間型枠を置いたままにしておきます。
その後型枠を取り外すと『基礎』の完成です

次回は

建物の荷重を地面に伝える構造上重要な部分でもある基礎が完成しました。

次の工程は、この基礎の上に土台を敷き柱や梁を組み立てていく『棟上げ』です。その様子は次回お伝えいたします。



検査が終わると型枠の中にコンクリートを流していきます。手前の作業員の人はバイブレーターという振動する棒を使ってコンクリートが隙間なく型枠の中に入っていくようにしています。

解体工事完了



解体工事が終わり更地の状態になりました。
道路沿いと左側の敷地の低い部分が駐車スペースやアプローチになる部分です。
敷地の奥の高い部分が家を建てるスペースです。

駐車スペースは車の出し入れがしやすいように横に3台並べて停めれるように計画していますので、歩道の縁石も道路管理者と協議をして取り除くことにしています。



基礎工事



砂利を敷いて締め固めた上に地面からの湿気を防ぐための防湿シート敷いて、さらにその上に鉄筋を組んでいきます。

写真は鉄筋と鉄筋が交差するところを結束線という針金で結んでいる様子です。

「カ所」カ所鉄筋を結ぶ作業は大変ですが、ていねいに作業してもらっています。

鉄筋の組立作業が終わりしました。等間隔にきれいに組まれている様子が分かります。

このあとコンクリートで鉄筋を覆うことで『鉄筋コンクリート』となり鉄筋とコンクリートの長所を活かして、欠点を補い合う優れた材料になるんですよ。

検査



これは私が鉄筋の太さや種類、組まれた間隔や継手の長さを検査しているところです。型枠と鉄筋との間隔も大事です。鉄筋には一定のコンクリートのかぶりがないと外部からの湿気や水分の影響を受けて錆びてしまうからです。

